

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 リハルキッズMURASAKIDA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		必要に応じて人数が多い時などはスペースを分け、グループ活動を行っております。	
	2	職員の配置数は適切である	6		・規定に沿った人数で、且つ、子ども達の人数やご様子に合わせて職員配置や対応を行っております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		カリキュラムを明確化し、適宜職員と声かけを行いながら、お子さまの状況に合わせたマットやステップなどの補助具を用意しております。危険箇所にはテープやクッション材を貼り付け、注意喚起の掲示物を表示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・装飾の乱れを整えたり、各設備等の清潔を保つ等、常に意識し、今後も取り組んでいきたいと思っております。	感染予防対策が行われた年と変わらず、今後も消毒の徹底などを行ってまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・毎月の目標を各自で設定し、反省等を行う振り返りシートを利用しながら、各職員が向上出来るよう取り組んでおります。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・皆さまから頂きました貴重なご意見を参考に、今後の療育もより良いものとしていけるよう、努めて参りたいと思っております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・書面にて開示させて頂いております。ご意見やご要望等ありましたら、適時、お伝え頂ければ幸いです。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	同じ事業所同士で勉強会を行い、業務改善に努めております。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・毎月、題材を決め、職員研修を行っております。職員教育に繋げていけるよう努めて参りたいと思っております。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・ご家族様よりアセスメントを記載して頂きながら、計画書の作成を行っております。改めてニーズ等ありましたら、随時、見直し、対応出来るよう努めていきたいと思っております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	太田ステージを導入したばかりです。これから活用を広げていきます。	職員での研修にて周知を行い、日々の療育に活用してまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			・ご家族様に分かりやすいご説明が出来るよう、職員全体での知識の向上を図ってきたいと思っております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・各職員が支援計画書を理解した上で、支援が行える様取り組んでおります。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・毎日リーダーが行っており、全体で共有した上で工夫や改善に繋げております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・常に意見交換を行い、様々な要素を含んだ活動内容にてお子様の経験の幅を広げていけるよう努めて参ります。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		・活動内容やお子さまの段階等も考慮しながら、個別、小集団、集団での支援を行っております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・毎日、ミーティングを行いながら、支援内容や職員の対応、役割分担について意見交換、確認を行っております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・その日の状況や課題、支援方法等について、職員間で意見交換を行い、記録として残しております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・毎日、業務日誌やケース記録等にて記録し、職員間でも確認、情報共有を行っております。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・半年毎にモニタリングや見直しを行い、作成後には必要に応じて職員間で情報共有を行っております。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・積極的に担当者会議に参加しております。会議内容等、全職員が共有出来るよう、報告、書面にて残しております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	・定期的に関係機関と連絡を取り、指導、助言等を頂いております。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		・現在のご利用はありません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	4		・現在のご利用はありません。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	・直接情報を共有するのは会議の場合のみです。必要に応じては情報共有は行っておりますが移行支援としての共有は行っておりません。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	・直接情報を共有するのは会議の場合のみです。必要に応じては情報共有は行っておりますが移行支援としての共有は行っておりません。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	・市町村が開催している研修等には参加しております。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		現在は行っておりません。保護者の皆様からご要望があれば、交流や外部とのネットワーク等を広げられるよう検討しております。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		・更に地域とのやり取りを行いながら、ネットワークを広げ、子ども達の支援へと繋げていきたいと思っております。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳や送迎時にお話しを伺いながら随時、お子さまの状況や課題等の共通理解を深めております。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	・連絡帳での書面や送迎時の会話にて、様々な提案や助言等をさせて頂いております。	・家族支援プログラムについて、全職員が取り組んでいけるよう、職員のスキルアップも図ってまいります。	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	・契約時及び、室内掲示にて行っております。		
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・ご家族様に目標等お聞きしながら、お子さまに合わせて支援計画を作成し、十分な説明を行い同意を頂いております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・必要に応じて、面談等行いながら、対応させて頂いております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		・保護者会の開催等は、現在は行えていませんが、ご家族様のご要望がありましたら、保護者間の情報交換等を行える場を検討していきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	・職員間で情報共有しながら、迅速に対応出来る体制を作りたいと思っております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・会報などは発行していませんが、ホームページ等を利用して、活動内容等をご紹介しております。	・今後も、より情報が伝わりやすい開示方法等も踏まえて、検討していきたいと思っております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・細心の注意を払っております。他事業所とのやり取り等に関しましては、ご家族様の了承を得て行っております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・お子さまに合わせてツールの使用や、やり取り等を行っております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		・感染予防の為、近隣での活動は現在控えております。今後、地域の方との関りが持てる場を作りたいと思っております。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・毎月、活動の中でお子さまと一緒に取り組み、また職員のみでも訓練、確認等を行っております。	・ご家族様にも広く理解して頂けるよう、ご希望に合わせてマニュアルの開示や避難訓練の様子を発信していきたいと思っております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・活動の中でお子さまと一緒に訓練の必要性を伝えながら取り組み、また職員のみでも訓練、確認等を行っております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・職員全体で周知致しております。また、それぞれの対応につきましても、ご家族に確認し、迅速に対応出来る体制を整えております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・対象のお子さまに関しましては、医師からの情報提供書等を確認しており、アレルギーがある場合は含まれる食材は提供していません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	・ヒヤリハット等に関しましては、書面にて、職員が把握出来る体勢を作っております。	・今後も、引き続き様々なヒヤリハットの事例に対して気づき、より安全、安心な支援が行える様、職員全員が意識し努めて参りたいと思っております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・虐待マニュアルも作成しながら、職員の意識や理解を深められるよう取り組んでおります。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	・やむを得ない場合のみ、必要に応じて、ご家族様にご確認、ご了承を得ながら、対応していきたいと思っております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。